

# 環境報告書 2014



中京化成工業株式会社

# 環境報告書 - 2014 -

中京化成工業(株)では、2003年3月にISO14001推進計画を作成し、環境問題への体制作りを開始しました。

環境マネジメントシステムを5月から仮運用し、翌2004年2月から本格運用、そして2004年6月18日に「本社・工場」を対象としてISO14001の認証を取得しました。

1999年12月に取得しておりますISO9001と合わせまして、

2014年度も品質と環境のマネジメントシステムの統合を目指して、品質目標と環境目標を可能な限り統合して設定するように努めました。

## 環境方針／環境目的・目標

### 環境方針

当社は、環境マネジメントシステムの最上位の「環境基本方針」に環境問題に取り組む決意と姿勢を表明すると同時に、より具体的に、かつISO14001規格に適合した「環境方針」にまとめて制定しております。

「環境方針」 平成16年2月制定 平成26年4月改訂

#### 環境基本方針

- ①我社は自然と共生することに最大の関心を払う。
- ②我社は環境配慮型製品の開発を進める。

#### 環境方針

1. 当社の各事業活動、製品及びサービスを踏まえた環境マネジメントシステムを構築し、環境保全に適合した活動を推進します。また、蓄積された潤滑理論をベースに自動車関連、グリース、工業用関連、離型・剥離用関連、洗浄用関連などの分野で顧客の環境負荷低減を支援します。
2. 変化する諸条件及び情報を反映し、環境マネジメントシステムとの活動実績の継続的改善、環境負荷の低減及び汚染の予防を図ります。
3. 環境法規、条例、規制や当社が合意したその他要求事項を遵守します。
4. 事業年度毎に環境目的及び目標の設定をし、運用します。
5. 全従業員に環境教育を実施すると共に、ビジネスパートナーに対しても理解を求め一致協力して環境管理を実施して行きます。
6. この方針は、文書化し広く一般に開示します。

2014. 4. 1

中京化成工業株式会社

代表取締役社長

廣野 拓

## 2014年度 環境目的・目標

「環境方針」をベースに、当社の管理できる活動、製品、サービスから特定された「著しい環境側面」、法的及びその他の要求事項、更には利害関係者の見解等を配慮して「環境目的」を設定しています。また、その「環境目的」の達成に向けて各年度に「環境目標」を決めて対応し、その施策の実現に取り組んでおります。

### 環境目的（全社）

- ①環境配慮型製品の開発と販売促進
- ②資源・エネルギー・廃棄物の削減
- ③法規制及び組織が同意するその他の要求事項の順守
- ④予防処置

| 部 門          | 品質・環境目標   |                                      |
|--------------|---|--------------------------------------|
|              | 内 容   | 目 標 値                                |
| 営業1部         | 顧客における要望をくみ上げた環境配慮型製品を新規製品化する   | 年間売上<br>2,000万円                      |
| 営業2部         | 顧客の要望している環境配慮型製品の販売<br>〔汚れ対策油・油煙対策油・臭気対策油・再生油・<br>CLフリー油・鉛フリー油・ボンデフリー油・他〕 | 年間売上<br>4,500万円〔40件〕                 |
| 営業3部         | 顧客の要望する環境配慮型製品の開発・拡販  | 年間売上<br>1,650万円                      |
| 業務購買部        | 外注先要因によるクレームの防止   | 0件                                   |
| 製造部          | 重油使用量の管理  | 2013年度対比<br>3%増以下                    |
| 製造部<br>業務購買部 | 納期遵守率の向上  | 100%                                 |
| 技術研究所        | 研究開発<br>第1課   | 顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発<br>8件<br>1,490万円 |
|              | 研究開発<br>第2課   | 顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発<br>9件<br>1,920万円 |
|              | 研究開発<br>第3課   | 顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発<br>9件<br>900万円   |
| 品質保証部        | クレーム削減  | 10件以下                                |
|              | 電気使用量の削減  | 2013年度<br>実績以下                       |
| 総務部          | 受注及び入力ミスの削減   | 1件以下                                 |
|              | 可燃ごみの減量<br>(イレギュラー的要因は除く)   | 2012年度対比2.0%削減                       |
| 全社           | 予防処置  | 6ヶ月に1件以上<br>年間2件以上                   |

2014年度 環境目標・実績

各関係部門において基本3年後の達成を目指し「環境目的」を設定し、単年毎の通過点である「環境目標」の達成に向けて取り組みました。詳細は次頁の通り。

|      | 部門      | 環境目的                          | 取組年数 | 目標                    | 実績               | 評価      |
|------|---------|-------------------------------|------|-----------------------|------------------|---------|
| 1. 増 | 営業1部    | 顧客における要望をくみ上げた環境配慮型製品を新規製品化する | ①    | 年間売上2,000万円           | 4,015万円          | \(^o^)/ |
|      | 営業2部    | 顧客の要望している環境配慮型製品の販売           | ⑤    | 年間売上4,500万円<br>[40件]  | 5,514万円<br>[21件] | \(^o^)/ |
|      | 営業3部    | 顧客の要望する環境配慮型製品の開発・拡販          | ⑤    | 年間売上1,650万円           | 1,817万円          | \(^o^)/ |
|      | 製造・業務購買 | 納期遵守率の向上                      | ⑤    | 100%                  | 99.85%           | (-_-)   |
|      | 研究開発第1課 | 顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発           | ①    | 8件<br>1,490万円         | 14件 2,198万円      | \(^o^)/ |
|      | 研究開発第2課 | 顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発           | ①    | 9件<br>1,920万円         | 10件 1,209万円      | m(-_-)m |
|      | 研究開発第3課 | 顧客の要望する環境配慮型製品の新規開発           | ①    | 9件<br>900万円           | 14件 3,145万円      | \(^o^)/ |
|      | 全社      | 予防処置                          | ③    | 年間2件以上<br>[年間2件×10部門] | 17件              | m(-_-)m |
| 2. 減 | 業務購買部   | 外注先要因によるクレームの防止               | ⑩    | 0件                    | 2件               | m(-_-)m |
|      | 製造部     | 重油使用量の維持                      | ②    | 2012年度対比3%増以下         | 21.0%増           | m(-_-)m |
|      | 品質保証部   | クレーム削減                        | ①    | 10件以下                 | 10件              | (-_-)   |
|      |         | 電気使用量の削減                      | ④    | 2013年度実績以下            | 8.7%増            | m(-_-)m |
|      | 総務部     | 受注及び入力ミスの削減                   | ①    | 1件以下                  | 1件               | (-_-)   |
|      |         | 可燃ごみの減量 (イレギュラー的要因は除く)        | ①    | 2012年度対比<br>2.0%削減    | 26.0%増           | m(-_-)m |

評価の凡例

\(^o^)/ : 目標値を10%以上達成しました!  
 (-\_-) : ほぼ目標値  
 m(-\_-)m : 目標値の90%以下に終わりました

各部のコメント

| テーマ                             | 部門            | 達成率（目標対比）                | コメント  |
|---------------------------------|---------------|--------------------------|---|
| 顧客における要望をくみ上げた環境配慮型製品を新規製品化する   | 営業 1 部        | 200.7%                   | 環境配慮型商品を取り込み目標達成できました。<br>次年度は個人の目標とリンクさせながら目標達成を目指します。   |
| 顧客の要望している環境配慮型製品の販売             | 営業 2 部        | 件数： 52.5%<br>金額： 122.5%  | 当部門の顧客においてやはりニーズは環境にありと改めて実感する年でもありました。<br>引き続き同案件を進めて行き環境にやさしい企業としてもイメージアップできればと思います。            |
| 顧客の要望している環境配慮型製品の販売             | 営業 3 部        | 110.1%                   | 今年度は販技一体となり実績計上できたことが目標達成の要因となりました。<br>次年度横展開を主軸に目標達成を狙います。                                       |
| 納期遵守率の向上                        | 製造部、<br>業務購買部 | 99.85%                   | 今年度は目標には届きませんでした。次年度は要因解析とその対処・対策を明確にした製造時間配分と配置等を柔軟に対応すること。また、各部内での連絡を密にすることによる早めの対応で100%を目指します。 |
| 予防処置                            | 全社            | 17件 / 20件                | 10部門中5部門は目標達成。内、2部門が3件提案しております。<br>ただし、5部門が1件の提出に終わりました。  |
| 外注先要因によるクレームの防止                 | 業務購買部         | 2件                       | 今年度発生2件はともに外注先起因のものでした。<br>「発生と流出」の両面で問題を捉える事を念頭に置いて外注先の管理に努めていきます。                               |
| 重油使用量の維持                        | 製造部           | 87.7%                    | 今年度は20%以上増加してしまいました。加熱必要製品や原料また工程の増加が原因と思われます。次年度は稼働時間、蒸気圧調整、加熱頻度等を検証し続け再度削減に取り組めます。              |
| 環境に優しい高性能商品の開発改良又は顧客に対して販促資料の作成 | 研究所 1 課       | 件数： 175.0%<br>金額： 147.5% | 目標件数、金額ともに大きく目標を達成することが出来ました。<br>次年度も営業部と連携で顧客の情報を把握し、顧客が満足していく製品開発を継続していきます。                     |
| 顧客の要望している環境配慮型製品の新規開発           | 研究所 2 課       | 件数： 111.1%<br>金額： 63.0%  | 3年計画の2年目で当初予定していた製品が納品まで至りませんでした。その他の製品で実績を計上でき大幅に目標を超える事が出来ました。                                  |
| 顧客要望（環境配慮要望も含む）をくみ上げ、特定用途製品の開発  | 研究所 3 課       | 件数： 155.6%<br>金額： 349.4% | 合計で14件の計上で目標を達成することが出来ました。ゴム用離型剤だけでなく、その他分野にも開発できたことは、有意義であったと思います。                               |

各部のコメント

| テーマ                           | 部門    | 達成率(目標対比)    | コメント   |
|-------------------------------|-------|--------------|--|
| クレーム削減                        | 品質保証部 | 10件(目標10件以下) | 目標の10件/年間で終わることができました。全ての案件において再発防止対策を実施しております。次年度は1件でも減らせることができるように努力します。       |
| 電気使用量の削減                      | 品質保証部 | 92.0%        | 今年度は年間を通して昨年度よりも電気使用量が多くなってしまいました。デマンドコントロール、エアコンの設定や朝礼での啓蒙活動により少しでも改善に向けていきます。  |
| 受注及び入力ミス<br>会社における受注入カミスの洗い出し | 総務部   | 1件(目標1件以下)   | 年間目標を達成することができました。日頃の意識付けが効果を発揮したものと分析します。次年度の新たな取り組みとして部内の重点顧客先リストを作成し活用します。    |
| 可燃ごみの減量<br>(イレギュラー的要因は除く)     | 総務部   | 79.3%        | 昨年対比で減量を目標にしていたが増量で終了しました。取り組みに不十分な点があり反省しております。次年度は新たに総務部内の文書のPDF化による減量に取り組みます。 |



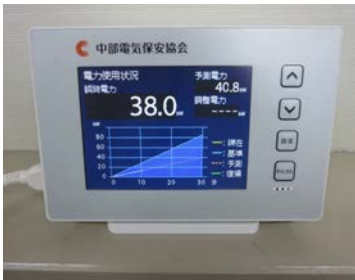
# 中京化成工業株式会社 環境への各種取り組み



## ハイブリッド車導入(プリウス、アクア)



## 見える化 【デマンドコントロール対策】



## 5S推進活動



## 緊急事態への対応 ・漏洩テスト ・非常呼集(防災)





中京化成工業株式会社

CKK CHUKYO KASEI KOGYO CO., LTD.

ISO9001:2008 (JQA-QM3984)

ISO14001:2004 (JQA-EM4081)

〒448-0008

愛知県刈谷市今岡町西吹戸 10-1

TEL: (0566)36-3690 (代表)

FAX: (0566)36-6156

URL: <http://www.c-k-k.co.jp>

10-1, Nishifukido, Imaoka-cho

Kariya-City, Aichi-Pref., JAPAN

TEL: 0566-36-3690 (General Line)

FAX: 0566-36-6156